

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500182
法人名	有限会社うれし舎
事業所名	グループホームうれし舎
所在地	〒896-0078鹿児島県いちき串木野市生福6303-9 (電話) 0996 (32) 5061
自己評価作成日	令和3年2月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年3月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 周囲を田畑に囲まれ、四季の移ろいを日々感じれる
- ご利用者様に常に寄り添ったコミュニケーション
- 制約や拘束が無く、明るく開放的で自由な雰囲気
- 常時ご利用者様本位でのサービスの提供

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、いちき串木野市郊外の自然豊かな農村地区に平成17年に開設されており、近くには小・中学校や保育所、公園、個人住宅等が点在している。開設以来、地域との交流に努めており、奉仕作業やイベントへの参加、散歩時の会話、中学生の職場体験、ボランティア等を積極的に受け入れてきているが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して現在は外出による交流は自粛している。面会は、利用者や家族の気持ちや感染予防に配慮しながら玄関ポーチやテラスで短時間で実施し、住民からの農産物等の差し入れ、ボランティアによる整髪、保育園児から七夕飾りを頂くなどの交流を継続している。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が家族や地域と繋がりがながら笑顔の絶えない、生きがいのある暮らしとなるように利用者主体の支援に日々努めている。外食やイベントへの参加は自粛中であるが、利用者や家族の思いを汲み取って電話の取り次ぎに努め、人出の少ない公園での弁当持参の花見やドライブにより馴染みの街並みを車窓から眺めたり、弁当購入等の短時間の買い物を楽しむなど、工夫して外出を支援している。また、ホーム内で機能訓練を兼ねたレクリエーションやお菓子(蒸しケーキ、いちご大福等)づくりを度々行ってストレスの解消を図っている。日頃から利用者及び家族の思いや要望の把握に努め、サービスの改善に取り組んでおり、信頼関係が築かれている。

管理者は、日頃から職員と気軽に意見を言い合える信頼関係及び協働体制を構築しており、通常の業務の中やカンファレン時に意見や要望を聞き取り、また、個人的事情にも配慮しながら業務やサービスの向上に努めている。日常的にケアに関する助言や指導に努め、資格取得へのバックアップ、休日取得に配慮して勤務シフトを作成するなど働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。コロナ禍の影響で外部研修の機会が減少しているため、施設内研修に動画も活用するなど、工夫してスキルアップを図り、研修実施後は修得状況の把握にも努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有については職員の目の届くところに掲げ、「ご利用者が自宅で生活しているのと同じような気持ちで生活する」をモットーに実践に繋げている	「利用者が住み慣れた地域の中で、家庭同様に安心して生活されるように支援する」を理念に掲げ、玄関や休憩室等に掲示して共有を図り、日常的に振り返りや意見交換しながら理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館に加入し、会費も払っている 公民館長にも運営推進会議に参加していただいているが、今年度はコロナ禍にて運営推進会議は開催出来なかった為、資料を作成し、それを送付して意見を賜っていた	自治会に加入して回覧板や役員等から地域の情報を把握し、会合や清掃活動、イベントへの参加や家族・友人による日常的な面会、施設見学、ボランティア等の受け入れなど円滑な交流が図られてきているが、現在は、新型コロナウイルス感染症予防のためイベントへの参加は自粛し、家族の面会は状況に応じて工夫し、保育園児から七夕飾りを頂いたり農産物の差し入れを受ける等の交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	施設の行事には慰問で外部の方がボランティアで来てくださっている 近所の方にも呼びかけ、施設の事を理解してもらえるようにしている 地域中学生の職場体験も受け入れている 今年度はコロナ禍にて慰問や職場体験を受け入れることは出来なかった		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回運営推進会議を行っている 公民館長・民生委員・包括・ご家族代表の方に参加いただき、話し合う場にもなっている 今年度はコロナ禍にて会議を開催できなかったため、資料を作成し、参加メンバーに送付して意見を賜っていた	会議は定期的（年6回）に開催し、家族や公民館長、行政職員等が出席して、ホームの現況や行事、ヒヤリハット事例等の報告を行い、地域の状況等についても意見交換に努めているが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防に配慮して一堂に会することは控え、資料の配布や電話等で現状を伝えながら意見等を出してもらう等工夫してサービスの改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新等で行政窓口に出向き、ご意見・ご指示を頂いている 事業所の状況（事故等）の報告をし、指示を頂いている	介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ホームの運営や感染症予防、防災に関する相談や協議等を行い指導や助言をもらうなど、市の担当者とは日頃から協力関係を築いており、介護保険更新時の医師の意見書も開示してもらえなどの改善もみられている。コロナ禍によりメールによる連携が増加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置 年4回の自主学習会を実施しており、全スタッフが共通理解している	身体拘束や高齢者虐待についてはマニュアルを整備すると共に、委員会の定期的な開催（年4回）や施設内研修も隔月毎に実施して認識を共有している。利用者の尊厳やプライバシー、生活習慣に配慮した言葉づかいやケアの方法を工夫し、家族の意向も確認しながら利用者主体の自由な暮らしの支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の尊厳を守り、声掛け・言葉遣いについてもスタッフ間で共有し話し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修に個人参加し学ぶ機会はあるが、施設での勉強会の実施は無い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前にご家族に見学に来ていただき、看取りの方向性まで含め十分に説明している  不安の内容に疑問・意向を伺い納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内での面会が出来なかったため、玄関ポーチでの面会になった（それもお断りしている時期もあった）  現状報告等は電話で行い、いただいたご意見等についてはカンファレンス等を通じて運営に反映させている	利用者の思いは日頃の会話や仕草、独自のサイン等で理解し、家族からの意見、要望は面会や電話、手紙、毎月のお便り等で現状を伝えながら把握している。現在、新型コロナウイルス感染予防に配慮して運営推進会議や家族会等の開催は自粛しているが、テラスやポーチでの面会や電話等で意見や要望等を把握して運営やケアの改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見を言える雰囲気や関係性に努めている  毎月のカンファレンス等でも意見が出る機会になっている	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、「何でもノート」、毎月のカンファレンス等で意見、要望等を把握し、必要に応じて個人面談も実施して改善に取り組んでいる。日頃のケアに関する助言やスキルアップを図る研修の実施、勤務シフトには個人的事情も配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。コロナ禍の影響で外部研修の機会が減少しているため、動画等も活用して施設内研修に努め、後日、修得状況の確認も行うなど充実を図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務シフトは常に職員の希望を取り入れたシフト運営になっている  処遇改善加算も積極的に取り入れ賃金の改善に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍にて外部研修参加は出来ていない</p> <p>動画研修の導入や分かり難い箇所についてはPC等で調べ、文書にし配布している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会さつま半島支部に加入</p> <p>年数回ほどの研修等に参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常時寄り添いケアを心掛けており、利用者様の発言を傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様より入居前の様子や生活歴、不安点・要望を十分に伺いあらゆる発言を傾聴し関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前のアセスメント時に利用者様・ご家族・担当ケアマネージャーから詳細な状況を聞き、対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させていただくという姿勢を大切にしている 安心して過ごせるように共存できる関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で本人様の状態をご報告し、ご家族の要望等も伺っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コミュニケーション良好な方は行きたい場所にお連れしている 知人・友人の面会やご家族と外出されたり馴染みの関係が保たれていたが、コロナ禍により中々外出出来なかった	利用者毎の馴染みの情報を把握しており、体調や天候に配慮しながら日常的に園庭や近辺を散歩し、コロナ禍に配慮しながら通院や弁当持参のドライブ、車窓からの季節の花見等を支援している。家族の面会は、状況に応じて玄関ポーチやベランダで短時間で行うなど工夫し、園便り、電話の取り次ぎ等で馴染みの関係を継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その方の性格や状態を理解し、楽しく声を掛け合って孤立の無い場作りを心掛けている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設外でお見かけした時にはお声掛けしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者がケアプラン作成時に、本人様・ご家族に希望や意向の確認を取り、計画に取り入れ、日々のケアに活かしている	日頃の会話や仕草、独自のサイン、小さな反応等から思いや意向を把握し、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしを家族の意向も伺いながら支援している。余暇時間も利用者の希望する趣味（読書、ぬり絵他）や、食材の下処理、テーブル拭き、整頓等の取り組みを残存能力に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には自己肯定感が得られるような言葉を添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント・それまで入所されていた施設等からのサマリー等で情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様の心身の状態等把握し、月1回のカンファレンス等の検討でスタッフ全員で情報を共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族から意向を伺い、カンファレンスで意見を出し合い、その方の現状に合った介護計画を作成している	通常6か月毎に作成するケアプランには、利用者や家族の意向を丁寧に把握し、主治医の指示やカンファレンスやモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化に伴い計画を変更し、家族にも事前に理解を得てからケアに取り組んでおり実施状況は申し送りや生活日誌、バイタルチェック表等で共有している	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録への記入とその内容を基にしたカンファレンスで以降の実践やプランの見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変なサービス提供に取り組んでいる 身体の状態変化があったときは訪問・かかりつけ医と連携を図り、その時のニーズに合わせて対応できるよう取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎年地域神社の参拝等で地域資源を活用しているが、今年度はコロナ禍の為実施していない		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を継続している 定期受診時はスタッフが帯同している	本人や家族が希望する医療機関での治療を支援しており、利用者の殆どが入所前の医療機関での治療を継続している。他科受診も家族と協力して実施しており、月1回の訪問診療や訪問看護（週1回）による健康管理や感染症への助言等も実施されている。各医療機関との連携体制も構築して適正な医療を受けており、利用者や家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪看訪問時に相談・報告をし、処置や受診等のアドバイスを受けている 緊急時や夜間でも相談が出来ている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはサマリーを作成・提供している コロナ禍の為、面会は出来ないが洗濯物受け取り等に医師・看護師との情報交換に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時、看取りの説明を行っている 終末期をどのように迎えるか確認しており、本人様・ご家族・かかりつけ医と連携を図り、納得のいく終末期を過ごせるよう支援している	重度化や終末期の対応については指針を整備しており、利用開始時に本人や家族の理解を得ている。入居後は状態変化に応じて家族に説明し、重度化した時点で主治医や職員、家族は十分な話し合いを行って、可能な限り希望に添った支援に取り組んでいる。疾病の状況や家族の意向で終末期に医療機関への入院となる場合が多いが、これまで看取りも実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・初期対応を訪看や外部研修で受けている AEDを常設している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行っている</p> <p>運営推進会議で地域との協力体制も確認している</p>	<p>夜間想定を含む火災発生時の訓練を消防署も参加して本年度は1回実施している。河川氾濫を想定して利用者全員を2階に避難させるなどの自主訓練も実施している。自動火災報知機やスプリンクラー、AEDが設置され、ラジオ、卓上コンロ等を備え、食糧品、飲料水、介護用品を備蓄している。日常的に避難経路の確認やマスコミによる災害事例を基に意見交換するなど、防災に対する認識の共有に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の人格を尊重し、言葉遣い・態度に気を付け、その時に合った対応をしている	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように年数回、接遇研修を実施して、ケアの振り返りや事例研修等で認識を共有し、利用者の生活歴や背景、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。特に衣服の交換や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限りご利用者様の思い・希望を伺い、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々状況・環境に応じてできるだけ希望に沿えるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝髪に櫛を通し、外出時の身嗜み等支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作成時に意向を伺ったり、調理のお手伝いや後片付けをお手伝いしていただいている コロナ禍で外食が出来ないため、弁当を作り提供したりしている	利用者の好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮したメニューで調理しており、利用者も食材の下処理や配膳等を楽しみながら一緒に行っている。季節の行事食や市販の弁当、弁当持参の花見（コスモス）、園庭や駐車場でのお茶会やラーメン会食、利用者のお菓子作り等、食事が楽しみとなるよう日々工夫しているが、新型コロナウイルスの感染予防のためレストランでの外食や家族との会食は現在自粛している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、一人ひとりに応じた支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け・誘導（介助）の実施・夜間の義歯洗浄液での消毒保管を実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録表を活用し、個別に検討しながら行っている 出来るだけトイレでの排泄を促している	各利用者の排泄パターンを排泄記録表で把握し、習慣にも配慮しながら昼間は声掛け等でトイレでの排泄を支援している。心身の状態により介護用品や方法を変えるなど利用者に応じたケアを介護計画に反映させ、また、便秘の予防には食事や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事と水分補給、体操等で体を動かすことを日々の内容に盛り込んでいる 便秘気味の方はかかりつけ医に相談し内服を処方してもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望に出来るだけ添えるように対応している 声掛けにて1日おきを実施している	基本週3回の入浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度、シャワー浴等で清潔を保持している。順番や温度、時間、習慣、同性介助、好みのシャンプー等を柔軟に支援し、個浴でゆっくり楽しんでもらっており、入浴後はヤクルトによる水分補給や皮膚疾患の手当を行っている。入浴をためらう利用者には、無理強いしないで時間の変更や声かけ等を工夫して、利用が意欲を持てるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度・湿度に気を付け、就寝までは思い思いに過ごしていただいている 傾眠の強い場合等、声掛けで午睡してもらったこともある		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りや連絡ノート等でスタッフ間で情報を共有している 薬説明書を個人台帳に綴り、いつでも確認できるよう努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理のお手伝い・後片付け等実施している。 好天時は外気浴を行っている		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブに出掛けたりしている コロナ禍の為、なかなか人の密度の多い場所へは外出出来ない ドライブ等で季節の木々や草花を眺めたりしていただいている	心身の状態や天候等に配慮しながら日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を楽しんでいるが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して、家族との外出については控えてもらい、また、地域のイベントの殆どが中止になり、外食も現在は自粛している。利用者のストレス解消に配慮して、人出の無い公園での花見や近くの無人販売所での野菜購入、車窓から馴染みの街並みや季節の花等を楽しんだり、ホーム内での機能訓練を兼ねたレクリエーションの工夫で気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金を保管し、必要時にいつでも利用できるよう支援している 本人様が所持を希望される場合はご家族に申し出・相談し、所持出来る様にしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望があれば時間を問わず対応している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節の展示物や花を活けている 窓からは季節の花が見え、季節感を感じられる空間作りをしている	利用者が昼間の殆どを過ごすホールは天井が高く余裕あるスペースが確保されて明るく、広い窓からは園庭の樹木や周辺の田畑、山並みが望められている。利用者の動線や利便性に配慮してテーブルやソファ等が設置され、随所に活花や利用者の作品等も飾られて和やかな雰囲気となっている。清掃や空調、衛生管理が徹底され、不快に感じる音や臭いもなく、利用者は四季を感じながら平穩に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、利用者同士の語り合いが出来ている 利用者同士の話し易い席等の配慮をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に自宅で使用していた家具やTVを持ち込んでいただいている 写真を飾ったりして居心地良く過ごせるよう工夫している	居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、エアコン、ベッド、クローゼット等が利用者の状態に配慮して設置しており、利用者の意向に添って整理整頓を支援している。利用者が戸惑うことの無いように、トイレは大きな文字で表示し、各居室にはネームプレートも掲げている。利用者は自宅で使用していたテレビや寝具、家族写真、亡配偶者の遺影等を持ち込み、自身の作品も飾って、居心地良く過ごせる環境になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺等一部増設の必要がある時は対応している 個々に合った出来る事を探り、声掛け・見守りをし無理せず行っていたけるよう工夫している		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない